

令和7年度 がん検診施策の推進に関する取組

※令和7年度東京都予算案が東京都議会で可決された場合に実施

資料13

1. 同世代の著名人を起用した機運醸成（退職者層向け普及啓発事業【60代女性向け】）

背景

- 全てのがん種において、概ね40~50歳代をピークに年代が上がるにつれて受診率が減少する。
- 特に60歳代女性の受診率が全体的に低い。
- 60歳代以降の未受診理由の多くは、「心配なときはいつでも医療機関を受診できるから」が占める。
- 60歳代の「国が推奨するがん検診」の認知度は、男性は38.0%、女性は52.2%に留まる。

▶ がん検診の受診率については、**60歳代女性が全年代と比較して低い**傾向があるが、これはがん検診についての**正しい知識が不足**していることや、**退職後、区市町村のがん検診への移行がうまくできていない**ことなどが要因と考えられる。

実施内容

○著名人を起用したコラムの広報（「いとうまい子さんのがん検診体験談」）

60歳代女性を重点啓発対象とし、9月のがん征圧月間に合わせて、ポータルサイト「TOKYO #女子けんこう部」のコラム「いとうまい子さんのがん検診体験談」のWEB広告等を実施する。また、コラムを周知するポスターを作成し、60歳代女性が興味を持つイベント等で掲示することで、より一層広報を強化する。コラムからポータルサイト「TOKYO #女子けんこう部」の詳細情報への導線を作り、理解促進を図る。

- ▶ 記事には「国が推奨するがん検診」の内容や区市町村が実施するがん検診受診までの流れ等を記載しており、**がん検診についての正しい理解を促す**とともに、**退職後は区市町村のがん検診受診を促す**。また、著名人の受診体験談により**同世代が検診を受診している雰囲気**を醸成し、より一層の受診促進を図る。



▲ポスター

▼バナー



URL : <https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/joshi-kenkobu/column/17/>

令和7年度 がん検診施策の推進に関する取組

※令和7年度東京都予算案が東京都議会で可決された場合に実施

資料13

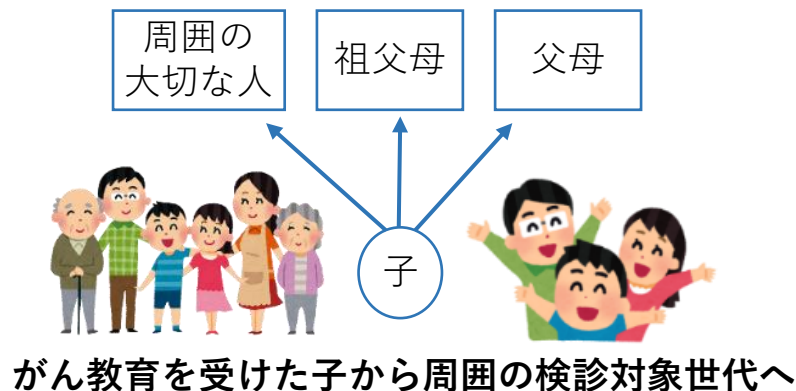
2.メッセージカードを活用したがん教育との連携（ファミリー層向け普及啓発事業）

背景

東京都がん対策推進計画（第三次改定）では、**がん検診受診率の目標値を60%**に設定。
がん検診受診率のさらなる向上に向け、イベントや各種媒体を活用した広域的な普及啓発を実施し、検診受診の機運を醸成することが必要。
中でも働き盛り世代のがん罹患は、心理的・経済的にも負担が大きくなるため、適切に検診を受け、がんの早期発見・早期治療につなげる必要がある。そこで、働き盛り世代を重点啓発対象とし、**家族をテーマとした啓発**を実施することにより受診促進を図る。

実施内容

がん教育の対象となる都内の小中高生へメッセージカードを送付し、身近な検診対象世代（家族や周囲の大切な人など）へメッセージカードを手渡してもらうことで、日頃の感謝を伝えるとともに、がん検診について考えたり、家族で話したりするきっかけとしてもらい、がんの罹患率が高まる世代の受診行動につなげる。都から各学校へメッセージカードを送付し、がん教育実施後に児童・生徒へメッセージカードを配布してもらうことを想定。

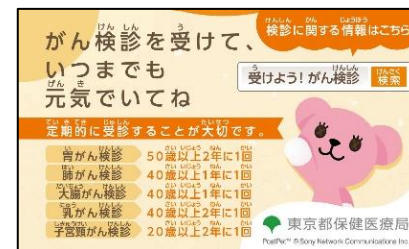


参考：R6メッセージカード（誰でも用）

（表）



（裏）



3月1日から3月8日は「女性の健康週間」です

資料13

～健康のこと、女性特有のがんのこと、考えてみませんか～

毎年3月1日から3月8日は、厚生労働省が定める「女性の健康週間」です。女性が生涯を通じて健康で充実した日々を過ごし活躍できるよう、全国で女性の健康づくりに関する普及啓発が行われます。

女性特有のがん(子宮頸がん・乳がん)や、女性に多いがん(大腸がん)は、早期発見・早期治療による生存率が90%以上(※)ですが、早期のがんは自覚症状がほとんどないため、検診の定期的な受診が重要です。

都は、女性の健康週間にあわせてキャンペーンを展開し、女性が自身の健康のことを考えるきっかけづくりや、がんの予防・検診の重要性などの周知に取り組みます。

※出典：公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計」

子宮頸がん・大腸がんは5年相対生存率、乳がんは10年相対生存率

令和6年度キャンペーンの概要

◆ゆうこすさんとのコラボ動画で子宮頸がん検診の受診を呼びかけます！

子宮頸がん検診は20歳から受診することが推奨されていますが、20代女性の受診率が特に低い
ため、子宮頸がんについて正しく知っていただき、検診受診につながるよう、タレントのゆうこすさんとのコ
ラボ動画を作成しました。

ゆうこすさんが大学で潜入調査をし、大学生と一緒に子宮頸がんに関する模擬授業を受講します。
ゆうこすさんの体験談や、婦人科の先生のわかりやすい解説などを聞くことができますので、ぜひご覧く
ださい！

〔配信日時〕

令和7年2月20日（木曜日）20時から

〔視聴方法〕

ゆうこすさんのYouTubeチャンネル

「ゆうこすモチちゃんねる」で視聴できます。

<https://youtu.be/WzXhh08NpA8>



◆ FC 東京サッカー選手のメッセージを発信します

J1 リーグ・FC 東京で活躍するプロサッカー選手が、定期的ながん検診受診の大切さを呼びかけるメッセージ動画を、東京都の公式 SNS にて配信します。

(プロフィールは FC 東京より提供)

◇ 野澤 大志ブランドン(のざわ たいしブランドン)選手 ハイボールに絶対の自信をもつ、長身ゴールキーパー。



野澤 大志ブランドン 選手

◆ 企業・業界団体と連携して検診受診の啓発キャンペーンを行います

企業・業界団体にご協力いただき、顧客や従業員等に対して、カードやリーフレットなどの啓発グッズを配布し、子宮頸がん検診の受診を呼びかけます。(協力企業・団体の一覧は別紙参照)

カードやリーフレット



◆大腸がん啓発のためのブルーライトアップを行います

都庁第一本庁舎及び隅田川橋梁群を、大腸がんの啓発カラーであるブルーにライトアップします。

【実施期間】

① 第一本庁舎：3月1日(土曜日)から3月8日(土曜日)まで
20時から22時まで

※3月1日は18時から22時まで

※毎時0分、30分からのプロジェクションマッピングの上演時間を除く。

②隅田川橋梁群：3月1日(土曜日)日没15分後から23時まで

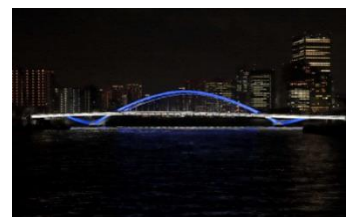
※本取組は、公益財団法人日本対がん協会が主催する

ブルーリボンライトアップの取組の趣旨に賛同して実施しています。

詳細は協会ホームページをご覧ください。

<https://www.jcancer.jp/daiyogan-keihatsu>

ライトアップのイメージ



◆都庁舎で女性のがんに関するパネル展を行います

都庁第一本庁舎1階中央展示スペースにて、子宮頸がん検診及び乳がん検診に関するパネル展を開催します。

実施期間：3月1日(土曜日)から3月5日(水曜日)まで

昨年度の様子



本件は、『未来の東京』戦略を推進する事業です。

・戦略3 女性の活躍推進戦略

「女性の希望に応じた生き方・働き方サポートプロジェクト」

・戦略8 安全・安心なまちづくり戦略

「人生100年時代を支える質の高い医療提供プロジェクト」

【問合せ先】

保健医療局 保健政策部 健康推進課

担当 松尾、鈴木

電話 03-5320-4351、4367

内線 32-850、32-865

こちらのホームページもご覧ください！

●女性の健康を支援するポータルサイト「TOKYO#女子けんこう部」

女性特有の病気や健康に過ごすために知っておきたいことについて、人気マンガ家・ミツコさんのマンガで手軽に読めるポータルサイトです。

URL <https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/joshi-kenkoku/>



キャンペーン協力企業・団体一覧(五十音順)

※諸事情により、取組内容が変更になる場合があります。

一般社団法人 日本フィットネス産業協会 (FIA)

- ◇ 内容:クラブ内へのポスターの掲出
- ◇ 場所:FIA に加盟する都内のフィットネスクラブ
加盟店舗の詳細は、下記の FIA 加盟フィットネスクラブ検索をご確認ください。
https://fia.or.jp/club_search (一般社団法人 日本フィットネス産業協会ホームページ)

株式会社アースホールディングス

- ◇ 内容:・店頭へのリーフレット・ポケットティッシュの設置
・公式 HP・SNS によるキャンペーンの周知
- ◇ 場所:美容室 EARTH 都内 45 店舗、本社営業所
詳細は、下記ホームページ内「お知らせ」をご確認ください。
<https://hairmake-earth.com/> (美容室 EARTH ホームページ)
- ◇ 期間:3月1日(土曜日)～3月8日(土曜日) ※なくなり次第終了

株式会社小田急百貨店

- ◇ 内容:・カウンターへのリーフレット・ポケットティッシュの設置
・従業員施設内へのポスターの掲出
- ◇ 場所:・小田急百貨店新宿店 (東京都新宿区西新宿 1-5-1)
【B1 階サービスカウンター、7 階 OP カードカウンター・小田急レディスクラブカウンター】
・小田急百貨店町田店 (東京都町田市原町田 6-12-20)
【1 階インフォメーションカウンター、4 階 OP カードカウンター／レディスクラブカウンター】
- ◇ 期間:3月1日(土曜日)～3月8日(土曜日) リーフレット等の設置 ※なくなり次第終了

株式会社ストライプインターナショナル (Maison de FLEUR)

- ◇ 内容:店頭(ライフスタイル雑貨店)におけるリーフレット・ポケットティッシュ・カードの配布
- ◇ 場所:Maison de FLEUR 都内7店舗
店舗所在地は、下記ホームページをご確認ください。
<https://stripe-club.com/shop?area=2&label=CC081> (Maison de FLEUR ホームページ)
- ◇ 期間:3月1日(土曜日)～3月8日(土曜日) リーフレット等の配布 ※なくなり次第終了

ミュゼプラチナム

- ◇ 内容:来社される方へのリーフレット・ポケットティッシュの配布、執務室内へのポスターの掲出
- ◇ 場所:ミュゼプラチナム本社
(東京都港区台場 2 丁目 3 番 5 号台場ガーデンシティビル 11 階)
- ◇ 期間:3月1日(土曜日)～3月8日(土曜日) リーフレット等の配布 ※なくなり次第終了

渋谷スクランブルスクエア

- ◇ 内容：インフォメーションカウンター（地下2階、2階）へのカードの設置、ポスターの掲出
- ◇ 場所：渋谷スクランブルスクエア（渋谷区渋谷 2-24-12）
- ◇ 期間：3月1日（土曜日）～3月8日（土曜日） カードの配布 ※なくなり次第終了

東京フットボールクラブ株式会社（FC 東京）

- ◇ 内容：3月8日（土曜日）FC 東京 vs 湘南ベルマーレの試合会場（味の素スタジアム）でメッセージ映像の放映とポスターの掲示を実施
- ◇ 場所：試合の詳細や、FC 東京の公式 SNS アカウントは下記ホームページをご確認ください。
<https://fctokyo.co.jp/>（FC 東京オフィシャルホームページ）

特定非営利活動法人 日本ネイリスト協会（JNA）

- ◇ 内容：
 - ・都内協力 JNA 認定ネイルサロンでのリーフレット・ポケットティッシュ・カードの設置、ポスターの掲示
 - ・会報誌「Natiful（ネイティフル）」へリーフレットを同封（都内会員のみ）、会報誌でのキャンペーンの周知
 - ・協会公式 HP・SNS 等によるキャンペーンの周知
- ◇ 場所：JNA 認定ネイルサロン 都内協力 48 店舗
協力店舗の一覧は、下記ホームページをご確認ください。
<https://www.nail.or.jp/nintei/salon/salon.html>（協会ホームページ）
<https://www.hokeniryo1.metro.tokyo.lg.jp/kensui/gan/torikumi-tomin/josei/index.html>
（とうきょう健康ステーション TOP＞受けよう！がん検診＞東京都のがん検診普及啓発キャンペーン＞女性の健康週間）
- ◇ 期間：3月1日（土曜日）～3月8日（土曜日） リーフレット等の設置・配布 ※なくなり次第終了

トヨタアルバルク東京株式会社（アルバルク東京）

- ◇ 内容：3月1日（土曜日）・2日（日曜日）・5日（水曜日）に開催されるアルバルク東京のホームゲームで啓発物を配布
- ◇ 場所：武蔵野の森総合スポーツプラザ【3月1日（土曜日）・2日（日曜日）】
国立代々木競技場第一体育館【3月5日（水曜日）】
詳細な試合日時等は、下記ホームページをご確認ください。
<https://www.alvark-tokyo.jp/>（アルバルク東京オフィシャルホームページ）

HOYA 株式会社アイケアカンパニー（コンタクトレンズの専門店 アイシティ）

- ◇ 内容：
 - ・店頭へのリーフレット・ポケットティッシュの設置
 - ・店内デジタルサイネージでの子宮頸がん検診啓発動画の放映
- ◇ 場所：アイシティ 都内 88 店舗（動画の放映は各店舗にて実施）
店舗所在地は、下記ホームページをご確認ください。
<https://www.eyecity.jp/>（アイシティホームページ）
- ◇ 期間：3月1日（土曜日）～3月8日（土曜日） リーフレット等の設置 ※なくなり次第終了
3月1日（土曜日）～3月31日（月曜日） 動画の放映

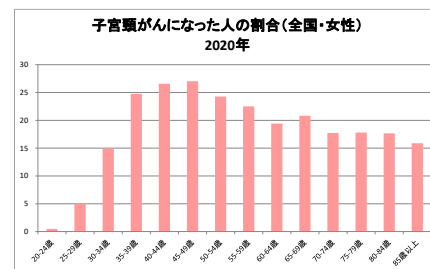
子宮頸がんについて 20 歳から 2 年に 1 回、子宮頸がん検診を受けましょう。

【20 歳代後半から子宮頸がんになる女性が増加】

子宮頸がんになる人は 20 歳代後半から増加し、30 歳代後半から 40 歳代が多くなるため、若いうちから検診を受けることが大切です。

また、早期のうちは症状がほとんどないため、「子宮頸がんにかかっている」と自分で気が付くことは困難です。

2 年に 1 回の定期的な検診の受診により、早期のがんや、がんになる前の状態で見つけることができます。



※上皮内がんを除く

出典：国立がん研究センター

がん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)

乳がんについて

40 歳から 2 年に 1 回、乳がん検診を受けましょう。

【日本人女性の 9 人に 1 人がなるといわれるがん】

最も多くの女性がかかるがんですが、早期発見・早期治療による 10 年後の相対生存率は 90%以上※です。乳がんを早期診断するためには、日頃から乳房の状態を意識する生活習慣＝「ブレスト・アウェアネス」が大切です。「ブレスト・アウェアネス」は、検診対象世代でない女性にとっても大切です。

※出典：公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計 2023」

＜ブレスト・アウェアネスの4つのポイント＞

- ① 普段から乳房をチェックして、自分の乳房の状態や月経周期による変化を知っておきましょう。
- ② 乳房の変化に気を付けましょう。
- ③ 気になる変化に気づいたときは、検診を待たずにすぐに乳腺外来のある医療機関を受診しましょう。
- ④ 自覚症状がなくても、40 歳から 2 年に 1 回、定期的に検診を受診しましょう。

＜乳房チェックの方法＞

・見るときのポイント

両腕を高く上げる 両腕をまっすぐに下ろす 両腕を腰に当てる



こんな変化はありませんか？ ☐ ひきつれ ☐ くぼみ ☐ ただれ

・触るときのポイント



※特に乳房の外側上部に注意

こんな変化はありませんか？

☐ 乳房のしこり ☐ 脇の下のしこり ☐ 乳首からの分泌物

大腸がんについて

40 歳から 1 年に 1 回、大腸がん検診を受けましょう。

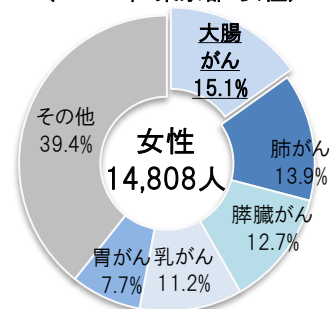
【都民女性のがんによる死亡原因の第1位】

都民のがん死亡者数を部位別に多い順で見ると、女性では大腸がんが第 1 位となっていますが、早期発見・早期治療による 5 年後の生存率は 95%以上です。※

早期のうちはほとんど症状がないため、定期的に検診を受診することが大切です。

※出典：公益財団法人がん研究振興財団「がんの統計 2022」

都内のがんで亡くなった人の部位別割合
(2023 年・東京都・女性)



出典：東京都保健医療局「人口動態統計」(令和 5 年)